

# マサコラム 7

## 地震に強い建物造りは用語の定義から

構造専門用語と言えども、時々定義不十分で混乱を招くことがあります。例えば、建物の骨組みが①力を吸収する②変位を吸収する③振動を吸収する④エネルギーを吸収する等々は話し言葉では殆ど同義に捉えられます。

混乱の原因は地震の性質と建物の吸収スタイルを的確に対応して説明できていない事が考えられます。弾性の世界でやや厳密に捉えると地震による建物を受ける慣性力の吸収は①に対応し、鉄骨ラーメン構造はかなりの変位を弾性範囲で吸収しますが、この場合は②に対応しているとも言えます。「耐震構造」は字の如く振動に耐え

るで③に対応しますが①のイメージもあります。

「制震構造」は③と④で振動エネルギー吸収のイメージですが減衰で表現できます。

地震のタイプで分類してみますとⅠ：衝撃に近い短周期の地震、Ⅱ：0.5Hz～1.0Hzの中期の地震、Ⅲ：4Hz以上の長周期の地震、に大別されます。Ⅰは①②でⅡは①②③Ⅲは③④の吸収に関連しそうです。弾塑性の世界においても全てに関連する広義のエネルギー吸収が単なる弾性変位吸収のポテンシャルエネルギー吸収と熱エネルギーによる吸収と消散である塑性変位の履歴減衰エネルギー吸収、各種ダンパーの減衰エネルギー吸収は異なり、明確に分けて定義する必要を感じます。

真崎雄一

# アラミド繊維シートによる コンクリート構造物の補修・補強材

FIBRA



柱に



床に!



梁に!



煙突に!

**フィブラシートは**

- 強くて軽い
- 作業が簡単
- 荷重の増加が無い
- 工期が短い

■ 木造用途にも使われています。



写真提供: J 建築システム社



## ファイベックス株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-4-3  
TEL03-3510-2981 FAX03-3510-2984  
http://www.fibex.co.jp

### 編集後記 (2005. 4. 15)

ゆとり教育のためπ=3でいいよと言ったせいか、数学力が世界6位になったと知ったとたん、教科書が3割方厚くなるらしい。3でいいと決めた人の考えも聞くべきだよ。やはり3. 14159にしようって言うのかな。

そよ風にさえロウソクの炎のように揺れる日本の指導層。朝令暮改を繰り返すのなら今後、通風国家と呼ぼう。

4月10日、中国各地で数万人規模の

反日暴動勃発、隣家の窓ガラスを割ってにおいて、うちの子には責任有りません、あなたが我が家に無関心だからじりじりするのよって、中国はこんなふうに言ってるのだな。それにしても日本周辺の近隣諸国はどれも反日じゃないですか。

本当に私たちの教科書は正しいの?逆を教えるのじゃないの?だんだん日本人としての自信が揺らぐよ。何故黙ってるのかな韓国に、北朝鮮に。

ずっと気になっていることがある。脱

税事件の家宅捜査により金丸(元副総理)邸から押収された無刻印の金塊の出自について。神九一色村、オウム真理教家宅捜査の時押収された無刻印の金塊の出自について。正式な報道がないみたいね、何故?。

思いつくまま言っではいけないことなのか、非常〜に怖い。中高年ニートになるのではと。こりゃ編集後記にならないね、終わろっと。(安田)

# JSCA千葉ニュース(春)

発行(社)日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報委員会)  
〒263-0031千葉県千葉市美浜区高洲3-20-38 (株)齋藤建築設計事務所内 TEL 043-277-5005  
FAX 043-277-0906

## 千葉市サッカー球技場見学会 JSCA千葉主催で開催

去る3月4日(金)、JR蘇我駅から徒歩10分、JFE(川崎製鉄所)正門前を集合場所として、本年度竣工予定で折しも屋根がかかったばかりの、(仮称)千葉市蘇我スポーツ公園内市民球

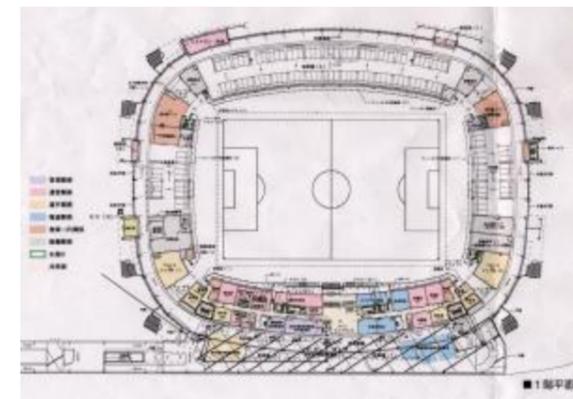


メインスタンド(西)側の4階に来賓ラウンジが見えている。

技場の見学会が行われた。

当日は予期せぬ小雪が舞落ち、風邪によるキャンセルの電話が相次いだ肌寒い日だった。

そんな足下の悪い中、20名ほどの見学者が参加した。設計は(株)日本設計、施工は清水建設(株)による。(安田、二面に続く)



(仮称)市民球技場 1階平面図

## JSCA千葉役員会議事録抜粋(坂恵)

<b>役員会</b>	<b>平成16年度</b>	(13:00~)	委員会担当)。	ルミ建築についてで、
代表	齋藤美佐男	ホテルサンガーデン千葉にて	3. 千葉サッカー場の見学会を3月4日開催すること。	・講師: 榊オーク構造設計新谷真人氏
副代表	向後 勝弘	(18:00~)	第11回3月16日	・演題: 「建築の表層構造」
総務委員会	園部 隆夫	出席: 齋藤代表他10名	(18:00~)	4. JSCA千葉2004年度収支計算書についての報告があった。
	坂恵 一巳	1. 合成スラブ工業会の講習会は2月以降に開催することとし、担当を決定した。	出席: 齋藤代表他10名	
	向後 勝弘	2. 新年会の実施プログラムを検討した。	1. メール体制移行に関して、協力会員との進捗状況の報告があった。	
	長内 光雄	3. 高度ポリテクセンターでの講習会(第1回)の報告があった。	2. 2月19日開催の鉄骨工業会との意見交換会の様子が、(鋼構造出版)「鋼構造ジャーナル」3月7日号に記事掲載されたとの報告があった。	
会員委員会	明智 孝夫	4. 新潟中越地震への活動支援金(10万円)の振込み済みの報告があった。	3. JSCA千葉2005年度総会の開催概要を決定し、その準備について検討を行った。講演会はア	
	斉藤 利彦			
	服部 信幸			
研修委員会	園部 隆夫			
	市原 嗣久			
	西澤 博文			
広報委員会	安田 良一			
	鈴木 泰久			
	告谷 修作			
技術委員会	市原 嗣久			
	齋藤 利彦			
	鈴木 泰久			
理事	飯島 宏治			
	真崎 雄一			